



●甲佐中生徒を対象として開催した子育て体験「ハロー Baby!」●妊婦体験シミュレーターや赤ちゃんの人形を使って、子育てについて体験学習●10か月児教室に参加した赤ちゃんやお母さん・お父さんと交流する中学生たち。実際に赤ちゃんに触れ合い、身体測定のお手伝いや抱っこ、着替えなどにも挑戦

妊婦や親子の擬似体験で 子育ての苦労などを実感

8月1日(金) 町総合保健福祉センターで、中学生の子育て体験「ハローBaby!」が開催されました。思春期の子どもたちが、妊婦の疑似体験や赤ちゃんとの触れ合いを通して、親子の愛情、子育ての楽しさや苦労、命の尊さなどについて考える体験教室で、町総合保健福祉センターが主催。

夏休みを利用して開催され、甲佐中学校(加藤敬之校長257人)の生徒22人が参加。体験教室では、10か月児教室に訪れた赤ちゃんとの触れ合い体験とお母さん・お父さんたちとの交流、乳児の抱っこ体験、赤ちゃんを持つ保護者の疑似体験を行いました。

赤ちゃんとの触れ合い で感じる命の温かさ

初めに、中学生たちは同日に開催していた10か月児教室に合流し、実際に赤ちゃんに触れ合いました。

赤ちゃんとお母さん・お父さんらと対面し、赤ちゃんの身体計測を手伝い、着替えや抱っこを実際に体験。赤ちゃんたちが自由に動き回ったり、大声で泣き出したりして、



Camera Sketch

甲佐中生徒の 子育て体験 「ハローBaby!」